

たてこし

生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰

vol.
25
2018.12.15 発行



◎今号の表紙

田んぼアートと同じ図柄の「ひまわりの花」、来春統合となる小川小・三面小の文字。雨上がりのグラウンドを彩る千本の竹灯籠。心が癒される静かなひと時となりました。

地域の歴史資料

③ 旧長津小学校の沿革（歴史）

歴史文化部会 副部長 齋藤純市



現在、市内の保育園、小学校の統廃合が進められています。長津小学校も一地区一校の基本方針に基づき、平成16年に小川小学校に統合し123年の歴史に幕を閉じました。今回は学校当時を思い出していたらと考えると考えその沿革を記してみました。

学校としては、明治11年に上中島笹平分校として民家を借りて校舎としたことに始まります。明治13年の学区改正によって、小川小学校笹平分校となりました。明治21年には、市制、町村制によって笹平、釜杭、小場、柳生戸の4カ村が合併し、小川小学校から独立して簡易長津小学校となりました。



昭和11年には校門のわきに子どもたちで自分たちの住む長津地区の模型を作成し、朝日新聞に『効果あがるパノラマ』として掲載されました。そして、昭和29年の町村合併によって朝日村立長津小学校、柳生戸分校となりました。

昭和34年には創立80年の記念運動会、記念式典が行われ、50年の県知事との対話集会でプールの建設を要望し、51年にプールが完成し、知事出席の下、竣工式が行われました。昭和55年には創立100周年記念式典、記念誌の発行、校歌の制定。平成5年には新校舎、体育館が完成し、10年に120周年記念文化祭、15年に文化祭、フィナルコンサート、16年に閉校記念式典が行われ長津小学校の歴史に幕を閉じることとなりました。

INFORMATION



みんなでLet'sクッキング!

おいしく楽しく料理してみませんか。クレープと珍しいジビエ（鹿肉）のカレーを作ります。親子、グループでの参加大歓迎です。詳しくは後日チラシでお知らせします。

日時 1月27日（日）10時から
会場 総合文化会館調理室
参加費 大人500円・子ども200円

初の合同視察研修に15名が参加

11月11日（日）、三面地域まちづくり協議会と合同で、先進的な取り組みを行っている見附市に行きました。本市は平成25年に地域まちづくり部門で新潟自治活動賞を受賞しております。



今回の研修では今町田園地区5町内で組織された「ほのぼの田園地区ふれあい協議会」から運営状況や活動内容を紹介していただき、課題等について意見交換を行いました。小学校新1年生への防犯ブザーの贈呈、10人乗りコミュニティワゴン車の定期運行・貸出、除雪機の貸出など、地域住民と密着した活動と活動数に驚嘆しました。

編集後記



流行りの曲や流行りのファッションなど『流行』にはまるっきり疎い私ですが、一昨年、小学校以来かかったことがなかったのにその年流行したインフルエンザにかかりつらい思いをしました。昨年は予防接種を打ち、無事にのりきることができたので今年も早々に予防接種を済ませて万全を期しました（笑）。平成最後のお正月まであとわずかとなりました。皆さんも万全を期し、良い年をお迎えください。（総務広報部会 N.Y）

たてこし 館腰地域まちづくり通信 25号
[2018年12月15日発行]

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地
(村上朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881

mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>

10/21
(日)

あさひまつり 開催

今年も軽トラ市とお店を出店、みんな汗だくで奮闘！



朝日みどりの里において、恒例となった「あさひまつり」が行われました。今年は晴天に恵まれ予想をはるかに超える大勢の方が来場されました。ステージでは歌や踊りなどのパフォーマンス、そして会場内には飲食店や特産品などいろいろな店が出店しました。



私たち館腰まち協も軽トラ市・半殺し焼き・卵焼き・豚バラ焼きを出店し、まつりを盛り上げました。予約待ちや行列ができるほどの人気で、役員も汗だくになりながら手を休める暇もなく奮闘しました。何より来場された方に喜んでもらえたことが一番です。今年のノウハウを活かし、来年も役員一丸となって「あさひまつり」を盛り上げたいと思います。(総務広報部会 中山靖夫)

第2回あさひフォトコンテストで 小池さん(瑞雲)と中林さん(小川)が準グランプリ受賞！

朝日地区まちづくり協議会連絡会議が主催する第2回あさひフォトコンテスト(応募総数43点)の準グランプリ作品に小池一栄さん(瑞雲)と中林麻由佳さん(小川)の作品が選ばれました。おめでとうございます。小池さんは「来年はグランプリだ!」と意気込み、中林さんは「子ども2人の中学校の体育祭の思い出に毎年撮っていましたが、やっと晴れていい写真が撮れ記念になればと思い応募しました」と受賞の喜びを語ってくれました。来年に向けてこれから作品を撮ってぜひ応募してみてください。

また、2月から朝日きれい館にて入賞作品を展示しますのでぜひご覧ください。

準グランプリ
「朝中体育祭フィナーレ」
中林麻由佳さん(小川)の作品



準グランプリ
「新緑の三面川」
小池一栄さん(瑞雲)の作品

館腰まち協 秋の活動報告！



9/8
(土)

竹あかりだててこしの夕べ開催

歴史文化部会長 吉村和昭

朝からあいにくの雨模様で実施できるか心配されましたが、決行することにし、午後から準備にかかりました。約1000個の竹を「田んぼアート」と同じ「ひまわりの花」の形に並べていきます。校舎3階からバランスよく見えるように、上の方の花びらは下の竹を並べる人、校舎3階から見下す人の指示を出す人、竹の位置を修正する人、チームワークはばっちりです。来年の小学校統合にあわせ、「小川小、三小」の校名も作りました。



夕方、子ども達の手で点火を行い「竹あかり だててこしの夕べ」の始まりです。見に来てくれた人が口々に「きれいだ・すばらしい」などと声を掛けてくれました。荒川地区から訪ねてくれた夫婦に「館腰地区頑張ってるね、田んぼアートも見に来たけれども、ひまわりの竹あかりもとてもすばらしい。」と誉めていただきとてもうれしく思い、頑張ったよかったです。

来年も竹をもっと増やし、盛大に行いたいと思います。来年はみなさんご参加をお待ちしています。

9/30
(日)

田んぼアートの稲刈り行いました

産業振興部会長 高橋一栄



台風が接近する中、奇跡的に雨をまぬがれて稲刈りを行うことができました。田植えから参加いただいた方々や役員約50人で、1時間半ほど心地良い汗を流しました。初体験の子もたちも鎌を上手に使い手際よく刈り取っていました。昼食交流会では手作りの芋煮とおにぎりを囲んで、貴重な体験や手作業の大変さをふりかえっていました。このような作業体験を通じてお米の大切さを感じていただけたのではないのでしょうか。

田んぼアートは県北初の試みとして注目され、熊登集落には1000人以上の見学者が訪れ賑わいました。募金箱への寄付、見学者ノートにたくさんのお励ましの言葉をいただきありがとうございます。来年に向けてPR等の改善を図っていききたいと思えます。